

表紙に使用している画像は、小川和紙の「透かし入り和紙（青海波）」です。青海波とは半円形を同心円状に重ねた波形の模様のことです。伝統的な和柄の1つです。また、和紙に合わせてあしらった2色は、紺桔梗と深緋。イメージしたのは議会の「冷静と情熱」。紙面から感じとっていただけるでしょうか。

議員の  
聞く×つなぐ

可燃ごみ処理

5 町村で  
再スタート

P.2

町民の願いを  
国・県へ

意見書 2 件を提出

P.6



「モ〜」わたくしが作ったの。ステキでしょ（裏表紙に関連記事）

# おがわ ぎかい

No.98

2020  
12月定例会

埼玉県小川町議会



わたしのひとこと

町民の声  
「聞きます×つなぎます」

P.14

一般質問を読んで、  
気になっていたことが  
よく分かりました。  
加藤友良さん

子供たちが  
「また小川町に住みた  
いな」と思ってくれた  
ら、何よりです。  
柏俣由希子さん



13の視点  
一般質問

P.7

議員のつぶやきにも注目！



## 検討委員会の報告 将来に向けた基本的な考え方

小川地区衛生組合  
ホームページ  
「可燃ごみ処理の  
あり方検討委員会  
報告書」



### 考えられる方法は2つ

#### 新たに 処理施設を建設

##### 留意点

- ・高効率でエネルギー回収が可能な施設
- ・より優れた交付金を受けるには広域連携が必要
- ・焼却施設、収集運搬等による温室効果ガスの検証
- ・新たな建設候補地の選定など

#### 民間処理業者に 全面委託

##### 留意点

- ・ごみの適正処理は行政の責務
- ・委託先の安定性や継続性

決定までは相当な年数を要する

ちょっと待って！ その間のごみ処理は  
どうするの？

もともと現焼却炉は  
埼玉中部資源循環組合が  
稼働するまでの延命措置

- ・更新には莫大な費用
- ・環境負荷
- ・住民サービスへの影響を考慮



住民説明会  
(令和2年11月14日 参加70人)

主な質疑・意見 ※抜粋要約

- ・燃やさない処理方法の検討を
- ・検討事項は各町村におろすべき
- ・どんな形であれ、早急に移転してほしい
- ・ごみの分別や減量化への取組を進めるべき
- ・住民が関心を持つよう進めてほしい

区分	現施設の継続		民間委託A社		民間委託B社	
	内容	評価	内容	評価	内容	評価
環境負荷	・CO <sub>2</sub> 発生 ・発電設備なし	△	・CO <sub>2</sub> 低環境負荷型 ・発電設備あり	○	・CO <sub>2</sub> 発生 ・発電設備なし	△
住民サービス(影響)	分別方法は従来どおり	◎	分別方法変更の可能性あり	○	分別方法は従来どおり	◎
コスト	基準値	△	▲約11.7億円	◎	▲約1.3億円	○
継続性(安定性)	コストをかければ継続可能(10年間)	○	契約可能(10年間)	◎	単年度契約のみ	△

注) コストは現施設の継続を基準とした場合の10年間の比較

現状の  
まとめ

将来の可燃ごみ処理は、新施設の建設か民間委託の両方の可能性を引き続き検討していくことになります。それまでのごみ処理は、民間へ委託する考えが濃厚です。

私たちに  
できること



Gikai's  
EYE

行政  
環境教育  
の推進

町民  
ごみの減量化と  
分別化の徹底

議会  
行政 ↔ 町民  
正しく伝えること

施設移転

風向きによっては臭いも…  
それが、一時的に別の施設での焼却になる予定？ とにかく早急に施設移転をしてほしい。  
鈴木秀尚さん（東小川6丁目）

日頃から

業務上でのデータ保存、文書の作成等は、できるだけペーパーレスを心がけています。

関根康彦さん（幸町）

平成27年4月

埼玉中部資源循環組合  
に参加

焼却炉の老朽化→設備更新には  
莫大な費用→広域化により解消へ

令和2年3月

埼玉中部資源循環組合  
解散

令和2年4月

元の枠組みで再スタート

9市町村から5町村へ



令和2年8月12日

可燃ごみ処理あり方  
検討委員会を設立

メンバーは自治体代表・住民代  
表・有識者による全5人（\*参照）



知る・考える  
巻頭特集

可燃ごみ  
処理施設



# 新たな 検討 始まる！



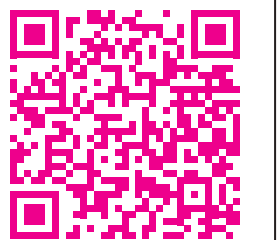
「埼玉中部資源循環組合」の解散により、  
「小川地区衛生組合」の枠組みで再スタート。  
将来に向けた可燃ごみ処理のあり方、現在ま  
での状況をまとめてみました。

始まったばかりの新たな議論、  
一緒に考えていきましょう。



12月定例会（11月30日～12月10日の11日間）では、旧中央公民館の解体工事増額等の補正予算、埼玉伝統工芸会館の指定管理委託、条例制定など23議案（うち議員提出議案2件、委員会提出議案1件）をすべて原案のとおり議決しました。また請願1件の審査を行い、採択となりました。

## 令和2年 12月定例会



本会議におけるすべての発言は「会議録」として記録されています。QRコードがインターネットで「小川町議会 会議録」と検索してください。  
※12月定例会分は2月末頃から見られます。

ただ  
**議員が質した  
聞いてわかった**

私たちの町、  
どうなってる？  
どうする？

**Pick up!**  
小川町民なら  
知っておきたい！

**2** 項目

洪水  
ハザードマップ  
**5** 河川  
一級河川

小川小学校  
老朽化  
**40** 年  
築

## 人口減少に対応した公共施設の在り方 思い出いつぱい旧中央公民館の解体

**Q** 当初の契約では3520万円の工事費が、5391万円に増額した理由は。

**A** 追加工事費の総額は1871万円で、岩盤対応に約650万円、浄化槽対応に約580万円、アスベストの処理で約80万円等です。岩盤があったこと、

また浄化槽を確認する図面がなく、設計当初に見込むことができませんでした。

### 健康ウォーキング

**Q** 大幅な補正増となったが、どのような状況なのか。

**A** 事業開始が7月からで、昨

年度同時期と比べると6%～20%の増加でした。10月においては、埼玉県コバトンマイレージ事業参加者の36%の方が月20日以上8000歩達成している状況です。

### 町営住宅

**Q** どの町営住宅で、どんな工事を行うのか。緊急性はあるのか。

**A** 腰越南団地・角山八幡北団地の入居者退去に伴い、解体工事を予定しています。空き家の

まま放置することは、衛生面、防犯面、防災面において問題が生じます。

### 洪水ハザードマップ

**Q** どのようなマップなのか。詳細と周知方法は。

**A** 県管理の5河川（槻川・兜川・館川・市野川・新川）について、水害リスク情報図により洪水等被害の想定が明らかになりました。1万5000部を印刷し、全戸配布を予定しています。

## 小川小学校

**Q** 屋上外壁等の改修工事が計画されているが、建物の状況は。

**A** 築40年以上経過し、屋上からは雨漏りが発生し、外壁はひび割れの状況です。改修に向けた設計委託を行います。

## 八和田学童クラブ

**Q** 今回、ICT図を活用した独自の取組を行う事業者が指定管理の選定を受けた。今まで学童で行ってきた稲作など地域との連携事業、雇用の問題などの引継ぎはどのように進めていくのか。

### 公共浄化槽

**A** 新しく選定された事業者です。教育委員会が積極的に間に入り、令和3年度のスタートに向け円滑に事業が進めていくよう関わっていきます。

**Q** 該当地域内の多くの住宅には、既に合併処理浄化槽が設置されている。現在の管理料等と比較をした場合、年間の費用はどのように変わるのか。

**A** 公共浄化槽の使用料を合併浄化槽の維持管理料と比較すると若干高くなります。個々のお宅によって一律ではありませんが、平均では同等もしくは少し高くなると考えています。

## 東小川小学校統合

**Q** 学校統合による町財政への影響はあるのか。

**A** 町の財政にとつては、学校の維持管理費全体における老朽化した校舎の改修や建て替えによる経費が抑えられます。

## 伝統工芸会館

**Q** 民間事業者と埼玉伝統工芸協会が共同体として指定管理者となる。サービスの向上として「入館料の撤廃」となっているが、経営上は大丈夫か。

**A** 入館料を無料にすることで、入館者や来訪者を増加させ、和紙体験料の増加・物販等の売上増を図ります。

## 見晴らしの丘公園

**Q** コロナ禍による不況が見込まれる中、指定管理者の経営状況の把握は。また、災害等の緊急時は、独自の防災対策があるのか。

**A** 選定をする段階で前年度収支計算書、貸借対照表等で判断をします。委託期間中は、必要があれば提出書類を求め確認を行います。

緊急時は、同社が近隣で指定管理を受けている施設間で連携し、バックアップ体制が取れるところも特徴です。

ICT…「情報通信技術」の略称。IT（情報技術）にコミュニケーションの要素を含めたもの。身近な例では、SNS上でのやり取りやメールでのコミュニケーションなど。

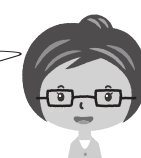
公共浄化槽等整備推進事業…整備対象区域内において、浄化槽の設置を希望する方に対し、町が主体となって個人住宅の敷地内に公共浄化槽を設置し、使用料をいただいて、町が維持管理を行っていく事業。

Mini Interview  
P.7へつづきます！

清酒十四代をぶら下げて友人宅を訪問し、昔話と思い出で盛り上がる。(S・Kさん 66歳)



1日おきのネギむきと、午後のロードショーを楽しみに生きています。(S・Yさん 65歳)



Vol.13  
コロナ禍でのあなたの  
ストレス解消法は？

Mini Interview

間く×コなぐ  
オガフマチのこと・ギカイのこと  
「一緒に見よう、考えよう」





全質問項目は議会ホームページ（下記QRコード）から見られます。  
議会だよりでは議員ごとに要約版で掲載。全文（会議録）は2月末頃に公開予定です。

# 13の視点 一般質問



「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言も交え、町に考えを質す。  
コロナ禍で一般質問を中止する議会もある中、13人が多岐にわたり論戦を繰り広げました。  
13人「13の視点」、そして町の答弁は…？ 各議員のつぶやきにも、ご注目ください。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



P.13	P.13	P.12	P.12	P.11	P.11	P.10	P.10	P.9	P.9	P.8	P.8	P.7
住民参加	公共工事	町の景観	環境保全	森林資源	生活道路	安心安全	移住促進	子ども	渋滞解消	跡地利用	学校再編	学校給食

給食センターの老朽化が激しい、対策を！

## 学校給食



しま やすひろ  
島田康弘議員

**Q** 当時の学校給食センターは竣工以来40年が経過し、建物、設備の老朽化が激しく、安全面や衛生面にも不安がある。今後の方向性を早急に考えるべきではないか。

**A** 学校教育課長 学校給食センターは、老朽化が進み、施設・修繕に関わる経費が年々増加しています。今後の計画について「新施設建設」「デリバリー方式」「企業誘致」といった観点から調査研究を進めてきました。これらの状況を踏まえ、できるだけ早く学校給食センターの方向性を決定し、当時の将来を担う子供たちに安全で安心な給食が提供できるよう努めていきます。

**Q** 当時の学校給食に、地場産



当町の学校給食は近隣でも「おいしい」と評判です。

**Q** 食材はどのくらい使用されているか。

**A** 学校教育課長 当町の学校給食で使用している地場産食材は、ほぼ野菜です。小川町産野菜は約25%で、そのうち小川町産有機野菜は約5%です。中でも白菜、のらぼう菜、長ねぎ、大根は、小川町産が多く使われています。

給食センター  
今後の計画は  
答弁 できるだけ早く  
方向性を決定する

家飲み。おつまみはメンマとキクラゲの炒め物、豚のから揚げ。  
(H・Hさん 44歳)

長風呂ですね。5歳の娘とアヒルのおもちゃで楽しんでます。  
(S・Nさん 44歳)

P.5からの  
つぶやきです！

公開します

賛否が分かれた議案

議決結果はホームページでも見られます→



議員ごとの賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対 欠…欠席

一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

他16議案と請願1件は  
全員賛成で原案どおり  
「可決・同意・採択」しました



議 案 名		議 員 名																審議結果
		笠原英彦	高橋功人	島田康弘	笹本孝幸	五十嵐康博	山口勝士	高橋さゆり	本多重信	高瀬勉	井口亮一	笠原規弘	島崎隆夫	戸口勝	田中照子	根岸成美	大戸久一	
条例制定・改正	小川町公共浄化槽事業条例制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	小川町一般職の職員の給与に関する条例及び小川町会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町長及び副町長の給与等に関する条例及び小川町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	令和2年度 小川町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	小川町水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	小川町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
旧中央公民館解体工事請負変更契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

## 町民の願いを国・県へ 議会から 意見書2件を提出

「コロナ禍であっても災害は待つてはくれない」  
町民の安全・安心につなげる意見書を提出しました。

意見書…町民の公益に関することについて、議会としての意思をまとめた文書。議決を経て県や国の関係省庁などに提出します。請願の採択を受けて提出することもあります。

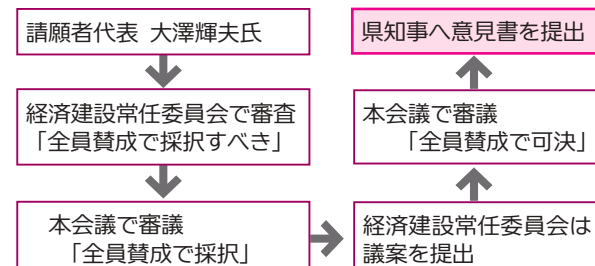


県知事へ

「さいたま小川町メガソーラー事業」での土砂（客土）搬入に強く反対する意見書の提出

### 良い環境を次世代に 甚大な被害発生源にしない

竹沢地区区長会（大澤輝夫氏ほか7区長）から、太陽光発電事業に伴う工事で残土などを持ち込むことに強く反対する請願が提出された。議会は、良い環境を次世代に引き継ぐため、この請願を全会一致で採択し、意見書を県知事に提出した。





## 学校再編

たかせ 高瀬 議員

**通学方法への保護者負担は**  
答弁 公平性の観点から受益者負担を求める

**Q** 学校再編等審議会から受けた短期再編計画に係る答申では、通学方法について「バス利用の負担は全額公費で賄うこと・保護者負担にならないようにする」となっていたが、実際の計画は一世帯当たり月額1000円の「受益者負担」を課すものとなった。その経緯・背景は。

が、おおむね年額90億円の財政規模にあつて、今収入を「当て」にする必要は生じるのか。  
**A** 学校教育課長ほか スクールバスの利用に係る保護者の一部負担金は、あくまで先の受益者負担の考え方によるものです。その収入を行政的に期待しているものとは捉えていません。

なぜ、受益者負担を課すのか疑問です……

**A** 学校教育課長 現在、町内には自力や保護者の協力によって、より遠方から登校している児童がいます。このような現状の中で、スクールバスを利用する児童と利用しない児童間の公平性を総合的に判断し、「受益者負担」を求める通学方法の構築が必要と考えました。  
**Q** 受益者負担として年額40〜50万円程度の歳入が見込まれる

令和4年度から小川小に統合される東小川小。「負担」が少ない方法を！



## 跡地利用

ささもとたかゆき 笹本孝幸 議員

**し尿処理場跡地で誘客を**  
答弁 コロナ禍で野外での活動が見直された

**Q** 嵐山町のバーベキュー場とキャンプ場はにぎわっているが、収益を把握しているか。  
**A** にぎわい創出課長 平成29年度約8万5000人、令和元年度約7万3000人の来場者で、それぞれ約5300万円と約4000万円の収益です。

**Q** 小川町にもバーベキュー場やキャンプ場ができる場所はないか。  
**A** にぎわい創出課長 現在、当町でバーベキュー場やキャンプ場を業務として行っている事業者はいません。腰中区切通橋下流、パトリアおがわ南側、下里一区でバーベキューやキャンプをしている方が多いです。

**Q** 下里一区のし尿処理場跡地は、キャンプ場として新たな集

小川町の素晴らしい自然を利用すべきでは……

下里地区にあるし尿処理場跡地とその河原を、新たな観光の目玉に。



客の場となると思うが。  
**A** にぎわい創出課長 日本の原風景のようです。素晴らしいと思いますが、小川地区衛生組合の所有地なので、その理解、あるいは運営する民間団体や近隣住民の理解が得られれば、その可能性があるのかと考えています。  
**その他の質問**  
・東小川小学校、旧上野台中学校跡地利用について

## 渋滞解消

いぐちりょういち 井口亮一 議員

**どうする交通弱者の安全は**  
答弁 高齢者や子供たちの安全確保は最重要

**Q** 新駅開業によって、町の役割や責任に変化は。  
**A** にぎわい創出課長 交通渋滞解消に向けた企業の対策の一つとして、新駅が開設されたと考えています。

また、「交通渋滞対策会議」を埼玉県・ホンダ・小川町・寄居町で組織して、渋滞解消の課題や事業について協議し、本田小川線バイパス、環状1号線の早期開通に向けた努力をしています。

安心・安全で移動の喜びを実感できるまちに……

**Q** 抜け道として、住宅地の生活道路に進入していないか。

**A** 防災地域支援課長 高齢者や子供たちの安全確保は極めて重要であり、県や警察などの機関と対応していきたいと考えています。

R254バイパス高谷交差点の渋滞解消は町民みんなの願いです。



## 子ども

たかはし 高橋さゆり 議員

**家庭総合支援拠点の進捗は**  
答弁 令和4年度設置に向け研究する

**Q** 児童福祉法等改正法が成立し、2022年度までに全市町村に虐待相談の拠点として、子ども家庭総合支援拠点の設置が盛り込まれているが、進捗は。  
**A** 子育て支援課長 支援拠点は、ソーシャルワークの機能を担います。今後、他自治体の状況や、子育て世代包括支援センターとの連携等を考慮し、研究していきます。

**Q** 虐待発生時、迅速・的確な対応をするには、専門職を増員し体制強化が必要と考えるが。  
**A** 子育て支援課長 対応件数が増加、内容も複雑化し対応に苦慮するケースも多くなっています。子育て支援課全体で連携し対応していますが、専門職の配置は大きな力になると考えま

**Q** 虐待発生時、迅速・的確な対応をするには、専門職を増員し体制強化が必要と考えるが。  
**A** 子育て支援課長 対応件数が増加、内容も複雑化し対応に苦慮するケースも多くなっています。子育て支援課全体で連携し対応していますが、専門職の配置は大きな力になると考えま

コロナ禍でもあり、母子を孤独にさせないで……

様々な問題も子育て支援課全体で取り組んでいます。



定員管理…持続可能な財政運営と安定した行政サービスの提供を図るため、職員数を適正に管理すること。

Mini Interview  
P.10へつづきます！

「断捨離」と「読書」です。ステイホームのお陰でブラッシュアップです！  
(N・Iさん 66歳)



地元の農家さんから畑を借りて、農作業をするとスツキリします！  
(O・Yさん 31歳)



実家の片付けと、娘の家に一泊するのが、何よりの解消法です。  
(S・Tさん 57歳)



P.7からのつづきです！



## 移住促進



たかはしいさお  
高橋功人議員

### 結婚応援事業の拡大は

答弁 補助要綱改正を検討する

**Q** 結婚応援事業の実績は。  
**A** にぎわい創出課長 10件を予定していましたが、現在まで2件の支援を行いました。  
**Q** 国が定めた要件に町独自の条件を付加できないのか。  
**A** にぎわい創出課長 国の補助事業ですが、町独自の予算を充てることで可能性はあります。  
**Q** 支援事業の対象年齢を40歳まで拡大できないか。  
**A** にぎわい創出課長 来年度から国の要件が39歳以下まで緩和される予定です。町でも補助要綱の改正を検討します。

41件で徐々に増えています。  
**Q** 子供たちを事件・事故・災害から守るための緊急避難場所を確保する目的とあるが、「災害」が明記されたのはいつからか。協力者や子供たちに周知されているのか。  
**A** 防災地域支援課長 平成25年に改定されました。設置協力者への周知と一層の協力を要請していきます。

今こそ様々な支援策を強化すべきときです

### 安全組織の見直しは

**Q** 「こどもあんしん110番の家」の登録数は。  
**A** 防災地域支援課長 現在5



このポスターやチラシは、移住を考える人々の心を動かししました。

## 安心安全



ほんだしげのぶ  
本多重信議員

### 命と安全、基本理念厳守を

答弁 里地里山保全の共同体づくりを進める

**Q** 太陽光発電計画は何箇所かで反対運動がある場合その理由は。  
**A** 環境農林課長 出力20キロワット以上の施設は152件で、町内全域に点在しています。反対運動は承知しており、理由は生態系や環境を損なう、土砂搬入の不安です。  
**Q** 町の基本理念「自然と共生したまちづくり」との整合性は。  
**A** 環境農林課長 里地里山保全の共同体づくりを推進します。

します。制限速度は50キロメートルで、町道並み速度ではバイパス機能は果たせません。  
**Q** 人命最優先、安心安全第一に考えるべきではないか。  
**A** 建設課長 道路利用者の安全を第一に考え、取り組んでいかなばと考えます。

小川町の宝、緑と清流をしっかりと次世代へ

### 命と安全を守る対策を

**Q** 県道本田小川線バイパスの安全対策を人命優先安全第一に。  
**A** 建設課長 町道233号同2449号（通学路）には、信号機と横断歩道設置を警察に要望し、カーブミラー設置を検討



「バイパス」を横断、登校中の生徒。

## 生活道路



かさはらのりひろ  
笠原規弘議員

### 通勤時間帯の安全対策を

答弁 立て看板を設置し注意喚起を促す

**Q** 青山陸橋西交差点から大河公民館付近までの環状1号線は、令和5年に工事が完了する。大河公民館周辺の生活道路の安全対策は。  
**A** 建設課長 生活道路の安全確保のため、県や警察等と連携した対策が必要です。通過交通の安全対策は環状線の延伸が効果的であり、引き続き県への要望を続けていきます。

しを行っていきます。  
**Q** 街路灯の更新希望者は約3割の状況である。補助金を検討すべきではないか。  
**A** にぎわい創出課長 活気ある商店街の維持と安全確保の観点から、商工会等と十分な意見交換を実施していきます。

「もっと安全な町へ」みんなで達成しましょう

**Q** 町内には抜け道として使われている生活道路が何箇所もある。安全対策について、地区やボランティアの方々と話し合う機会を設けるべきではないか。  
**A** 防災地域支援課長 「交通安全隊」や「交通安全母の会」と安全対策についての話し合いの場を設け、危険箇所の洗い出



尊い命を守るためのメッセージ。無意味なものにしてはならない。

## 森林資源



とぐちまさる  
戸口勝議員

### 脱炭素社会への環境教育を

答弁 自然を守る姿勢を子供の心に育てる

**Q** 総面積の58%が山林に覆われている森林整備の状況は。  
**A** 環境農林課長 現在山林所有者から委託を受け、人工林面積の18・7%が埼玉県中央部森林組合により森林経営計画が進んでおり、効率的な伐採と保育が実施されています。  
**Q** 間伐材の利活用は。  
**A** 環境農林課長 主にバイオマスの利用のチップ材として、また木材としてベンチなどに使われています。当町を含む埼玉県中央部森林組合エリアでは、間伐可能面積の5%にとどまっています。利活用が少ない理由として、搬出するコストがかかることが考えられます。また、その後の利用もコストに見合った成果物にならないのが課題で

あるようです。  
**Q** 木質バイオマス活用の実現は中期的な課題だが、まずは対応可能な環境教育の推進を。  
**A** 環境農林課長 「(仮称)山の学校」を立ち上げ、森林問題や木質バイオマスの利用を支えるコミュニケーションの場づくりへ展開を考えています。子供の心に町の自然のすばらしさを守り、持続させる態度を育てます。



間伐や人材育成・確保、木材利用の促進費用に国税が充てられています。

ただひたすら「カレーづくり」に励んでいます。  
(I・Rさん 28歳)

縁側でビールを飲み、ちよつと贅沢なお刺身をいただいて、柚子風呂に入ること。  
(K・Nさん 40代)

YouTubeで自動車整備系チャンネルを見ること。  
(S・Sさん 40代)

月2回程度のゴルフと、妻を喜ばせる手料理です。  
(M・Nさん 64歳)

P.9からのつづきです！



## 環境保全



いがらしやすひろ  
五十嵐康博議員

自然の恵みへの感謝を忘れないように…

**Q** 太陽光発電は地球温暖化の防止に資するものであり、また我が国の化石燃料への依存率を勘案すれば、主な電力源の一翼を担うと期待されている。一方、東日本大震災をきっかけに急速に普及したことに伴い、地域でトラブルになる事例も多く、災害の懸念、景観などに影響を及ぼす恐れなど、多くの不安の声が寄せられている。今後メガソーラー建設の動きは継続すると思うか。

**A** 環境農林課長 国策において再生可能エネルギーの施設は拡大していきませんが、一方、売電価格の低下や広大な土地取得の困難さで、当町においては、林地開発を伴う大規模な開発は継続しないと考えています。

森林資源の持続可能な活用をみんなで考えていく必要があると感じます。



## 不安と反対の声への対応は

**答弁** 適正な実施に向け意見をしていく

**Q** 町民の不安や反対の声に対する考えは。

**A** 環境農林課長 町にはガイドラインがありますが、さらに現在条例の制定について検討をしています。発電事業は、環境に配慮し地域との共生を図ることが重要です。地域環境及び住民意識を調和させた適正な実施に向け、事業者には町の意見を述べていきます。

## 町の景観



たなかてるこ  
田中照子議員

町中は県の歴史の道景観モデル地区です

**Q** 景観モデル地区の選定から3年。今後の取組と方向性は。

**A** 都市政策課長 取組を継続します。また、和紙や地酒、絹、木工業など地場産業に関わる建築物の価値や魅力を歴史的背景とともに発信していきます。

**Q** 景観モデル地区において、地域や行政、まちづくり団体が構成員となる研究会の発足を。

**A** 都市政策課長 研究会は町民の意識を高めるためにも重要です。町も支援していきます。

**Q** 和紙体験学習センターの方向性は。

**A** にぎわい創出課長 産業施設としての整備・活用を基軸に据え、国の登録有形文化財への制度活用も検討します。

**Q** 全国で3件の裏絹の精練所

県や大学と連携し、学生が町づくり等を学ぶ場とし実施された町歩き。



## 景観モデル地区の今後は

**答弁** 県と協議し、今後も継続していく

が当町に2件ある。支援体制は、**A** にぎわい創出課長 伝統的な産業は、他業種との連携が難しいですが、絹・和紙等素材を産む技術、建具・襖紙の加工技術、「ものづくり」を支えてきた技術者同士が連携することで必ずや新しい価値が生まれるものと考えます。今後も、事業者に寄り添い支援をしていきます。

## 公共工事



やまぐちかつし  
山口勝士議員

安全安心のため、地域建設業者は大切だ

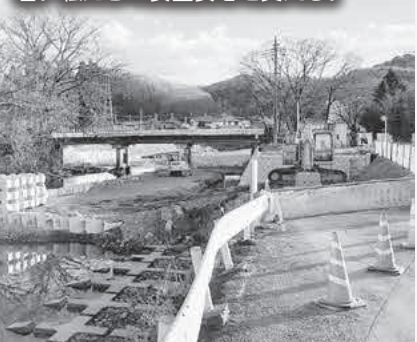
**Q** 災害時の対応、大雪時の除雪など、町内建設業者の育成は、安全・安心の住民生活に欠かせない。そうした点から、公共事業は重要であり、計画的に建設業者に提供されることが重要である。町はどう捉え、生かそうとしているか。

**A** 政策推進課長 公共工事を計画的に発注することは、町内建設業者の雇用の創出、地域経済の活性化にも重要です。今後必要な公共工事の、建設業者への発注機会を確保します。

**Q** 国の「公共工事品質確法」

「発注関係事務の運用に関する指針」の改正は、建設業者を守るために重要である。町はどう捉え生かそうとしているのか。

災害復旧に大切な役割を果たす建設業者。私たちの安全安心を支える。



## 町内建設業者の育成を

**答弁** 発注者としての責務を果たしていく

**A** 政策推進課長 今回の改正で、公共工事の品質を確保した上で、災害復旧工事の迅速かつ円滑な実施が可能になりました。また働き方改革への対応が規定され、町は現場労働者の処遇改善や中長期的な担い手確保に配慮が求められます。町は発注者としての責務を果たし、公共工事の品質確保を図っていきます。

## 住民参加



しまざきたかお  
島崎隆夫議員

**Q** 当町が特徴ある地域となるために必要なものは。

**A** 政策推進課長 地域のことをよく知る住民と町の魅力を理解する地域外の方々为主体となり活動することだと思います。

**Q** 特徴を生かすために努力し実を結んだ地域は全国に多く存在する。川越市、長野県小布施町、愛媛県内子町など挙げれば

**A** 政策推進課長 お示しの地域は、古くから地域資源を有効活用し、住民との協働で成功していることを認識しています。各地の成功事例を参考にまちづくりを進めていきます。

## 地域おこしに必要なものは

**答弁** 真に町を思う人が主体となること

**Q** 様々な資源があるが、当町最大の特徴は山と平地がほぼ半分ずつあるということ。里山が最大の売りではないか。政策の柱とすることを考えては。

**A** 政策推進課長 里山は日本の原風景であり、SDGs(エスディーズ)目標達成のため第5次総合振興計画の後期基本計画でも活用について考えていきます。

地域に合ったまちづくりを考えたとき、当町が売りにできるのは里山だ。



SDGs…国連サミットで採択された持続可能な開発目標。「誰一人取り残さない」ことを誓っている。

外務省ホームページ「SDGsとは?」



公共工事品質確法/発注関係事務の運用に関する指針…価格のみで落札者を決める仕組みを見直し、多様な入札・契約制度の導入など公共工事の品質確保を促進するための法律。その法律に基づき、事務を適切・効率的に運用するための指針。

とにかく体を動かしています。フラダンスをしたり!

(M・Jさん 65歳)



P.11からのつづきです!



## Back to おがわぎかい No.97

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー

### 子供たちの笑顔 あふれる町に

加藤友良さん  
(西古里)  
KATO Tomoyoshi



前号の議会だより (No.97) で「読んでよかった」と思ったのは、どの記事でしたか？

「一般質問」です。以前から気になっていた「旧上野台中の活用」と、「災害時の建築業者の対応」の質問を読み、旧上野台中については、いよいよ動き出すこと、また、自分の知っている近隣の町の水道業者同様に、小川町の建築会社の実情も大変なことがよく分かりました。

#### —議会だよりへ「ひとこと」！

毎回、一般質問は興味があるので、必ず読んでいますが、他の特集記事や、「聞く×つなぐ」は読んでいません。これからは読むようにしたいと思います。

加藤さんイチオシの  
記事はP.9～の  
一般質問



Gikai's comment 一般質問以外にも興味を持っていただけよう、今後も頑張ります。

## わたしのひとこと

町民の声、「聞きます×つなぐ」

## だから小川が好き！

町への想いを寄稿していただくコーナー

### 人の優しさに 感謝です

柏俣由希子さん  
(神明町)  
KASHIWAMATA Yukiko

## 神明町に 引っ越して

間もなく、当時犬に興味を抱いていた5歳の息子は、毎朝近所の方



に連れられ、犬の散歩を楽しんでいました。保育園児の娘は、園のお散歩で仙元山や腰越城跡など、美しい四季のトンネルを駆け回っています。近所の方の優しさ温かさ、そして豊かな自然の恵みを小さな体にいっぱい浴びて、すくすくと成長しています。優しい眼差しを子供たちに向けてくれる方々に感謝、そんな小川町、私は大好きです。

4 人の子供たちが進学や就職で町を離れる時、生まれ育った町を振り返り「また、小川に住みたいな」と思ってくれたなら、何よりですね。

## 次の定例会は

3月1日(月)～

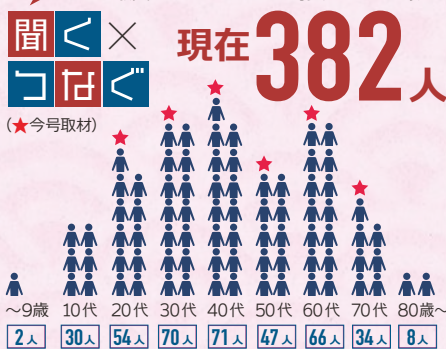
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会ホームページへ



### 議員の

おがわぎかい No.80 ～  
議員がインタビューした町民みなさんの数



### ・今号の表紙・

## のびのび広場(ココット)

今年最初の広場は、みんなで「うし」さんのエコバックづくり。  
外で遊べば風にもなるよ。楽しいね♪



## 編集後記

新型コロナウイルスが確認されてから、早1年が経過致しました。ウイルスの蔓延は、私たちのライフスタイルを一変し、価値観や社会に大きな変化をもたらしました。当町においても大きな変革期を迎えていると感じております。こんな時だからこそ、改めて正確な情報をお届けする大切さを感じ、その業務に携わる責任を実感しています。これからも、より正確に読んでいただける広報紙の発行に努めてまいります。(五十嵐)

発行責任者：小川町議会議長 大戸久一  
編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋さゆり 副委員長 笠原規弘  
委員 笠原英彦・高橋功人・笹本孝幸・五十嵐康博



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています

